

グローバル×SDGs = Boost Up 八王子

団体名 創価大学 尾崎ゼミ
代表者名 湯川 春香

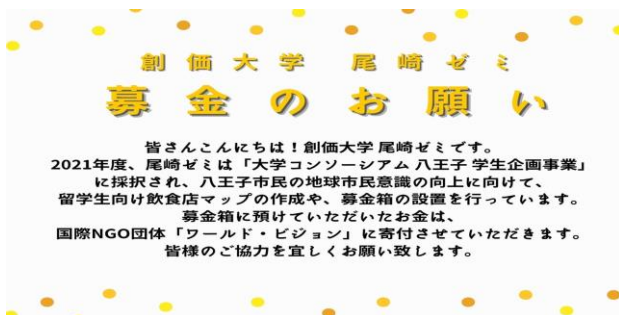
① 事業内容

本事業は「八王子市民が地球市民意識をもつ」ことを一つの目的とし、八王子で学ぶ留学生に市内の飲食店を紹介し、またより多くの市民がそれら飲食店を訪問することができる仕組みを作る。飲食店には募金箱を設置させていただき、お金を募り、その募金が地球上のどこかで困っている人を助けることができるシステムを構築する(集まったお金は、SDGs の目標 [例：貧困をなくす、飢餓をゼロに、質の高い教育をみんなに、安全な水とトイレを世界中に] の達成に向けワールドビジョンへの寄付を考えている)。そして支援を受けた人からのフィードバックを留学生や市民に伝える作業を SNS を通じて発信し、本事業への参加(主に飲食店に行くこと・募金をすること)が遠く離れた人のためになっていることを実感してもらうようにする。八王子にしながら、地球規模で考え、行動するという、グローバルな市民意識を育成するプロジェクトである。尚、飲食店の選定に関しては、留学生が自身の食文化や宗教的制約に合うといった点や、安価でありながら、味においても満足のお店であることに重点を置く。そして選定した飲食店を HACHIOUJI MAP に掲載し、それを見た留学生が実際にお店を訪れ、その体験を、SNS にて共有をする。これは、飲食店の宣伝になると同時に、周囲の人々に本事業の参画を呼び掛けるものとなる。本事業は留学生向けの飲食店のマップ作り、及び募金活動、SNS での広報活動を通して、八王子市内の飲食店の繁栄は勿論、飲食店の利用を通じた世界規模の支援、八王子市民の地球市民意識を生むことを可能にすると言える。



② 実施報告

コロナ禍での活動となったが、合計7店舗に協力いただくことができた。また、募金箱の設置にも取り組むことができた。募金箱には、事業内容と尾崎ゼミの紹介を簡潔にしたリーフレットを添えることで、1人でも多くの方々に協力を仰げるように工夫を凝らした。募金箱の回収は今後行う予定。加えて、Hachioji Map に関しては、当ゼミのホームページやSNSを通じて公開する。そして、Hachioji Map の更なる向上に向けて、留学生より収集したアンケートを基に、これまでの活動を分析、考察を行い、より良い Map を提供するために今後何ができるのかを熟考していく。また、当該プロジェクトが終了した後も、コロナの情勢を考慮しながら、留学生や八王子市民が、協賛店舗へ訪問できるようにSNSなどの活動を展開していく予定である。



③ 事業を実施した感想

活動期間中に、緊急事態宣言の発令もあり、スケジュール通りに事業を進めることができない時期があったものの、快く飲食店の方が協力してくださったことで、事業を展開できたことに感謝の思いでいっぱい。参加した留学生は、来日して祖国の味を堪能できたことを大変喜んでくれ、ある留学生は外国人に対してオープンな飲食店が八王子にあることを知れて嬉しいと述べてくれた。以上のような言葉をいただく中で、八王子の食のバラエティーの豊かさに気づくと共に、お店で切り盛りする方の理念や情熱、優しさを感じることができた。また本事業をゼミのメンバーと進める中で、先々のスケジュールを考えながら計画を立てる力や、仲間を信頼してタスクを分担すること、このプロジェクトに携わってくれている全ての方々への感謝の心を忘れずに、誠実に行動することの重要性を学ぶことができたと感じる。

今回の事業の目的でもある「八王子市民が地球市民意識をもつ」ための架け橋として今後はこの活動を部分的に継続していく予定だ。具体的な案としては、大学のポータルサイトに、ホームページのリンクを掲載できるように交渉することや、八王子市の広報ツールの力を借りて Hachioji Map の存在を知ってもらうことが挙げられる。一人でも多くの方に本事業を知ってもらい、広げるために広報ツールを再考する。また現在提携してくださっている協賛飲食店に加え、新たな飲食店にも募金箱の設置や Hachioji Map への掲載の協力を仰ぐなどこれまで以上の飲食店と提携をすることで、事業の信頼と実績を向上していき、八王子市民の世界市民意識の向上を目指す。八王子の町おこしに、本ゼミが参加できたことはとても貴重な経験となった。本事業を通して得た学びをこれからも様々な社会の場面で還元できるように努めて参りたい。

